令和７年度
すくわくプログラム
活動報告書

とちの木保育園

ワクワクする園庭

設定理由　：　広い園庭の中で子ども達の自由な発想で遊べるような園庭環境を作り、子ども達が想像力、創造力を働かせて遊べるようにするため。

活動のねらい：土や泥の感触を味わい、特性や変化・感触の違いに気づき創造力を養う。心を解放させて遊ぶ。可動遊具を組み合わせて自分たちでイメージを共有させ遊びを広げる。友だちと遊びあいながら社会性を育む。

対象クラス：３・４・５歳児クラス　12・13・12名

スケジュール：　令和７年９月～令和８年３月（計６回）

砂場玩具の棚の向きを変え、
子ども達が取りやすいように
しました。
砂場横にあるプランターは
子ども達が摘んでもいい花を植えて
います。





畑が２つありましたが、１つが日当たりが悪くなかなか野菜が育たないため、撤去しました。
今までは柵を付けていましたが、子どもたちが自由に畑の様子を見られるように柵は外しました。プランターにも野菜をうえて育てるようにしました。







畑を撤去した場所が広くなり、ここでは大人に鉄棒を持ってきてもらってお家づくり。

バスマットやござを敷いて、どんなお家にしようかな～？

お家の横には電車も通れるスペースです。





畑だったスペースには
テーブルを置いて
おままごともできます。



社会福祉法人　育和会　　とちの木保育園

子ども達が昇り降りする築山の土がやせてきたので土を盛りました。
ボリュームアップした築山で
雪の日はそり遊びのように滑るのを楽しみました。





土山に土を盛ったことで
高低差のある斜面ができました。
雨樋をつなげそこに泥団子を転がしてみます。
コロコロコロ～～！！！







土山にもマットを敷いて
大きなお家に展開していきます。

ぶどう棚のぶどうは子どもたちが見守る中、大人が収穫します。
立派なぶどうだね！







園庭になった夏ミカンを
みんなで食べました。
なりたては少しすっぱめなのですが
「おいしー！」「もっとちょうだい！」と大人気です。







振り返り

畑を撤去した場所で自由に遊べるスペースが広がり、鉄棒とバスマットやタイヤ、布などを組み合わせたお家づくりや、テーブルを持ってきておままごとなど、子どもたちのアイディアから遊びが広がっていった。

土山や築山に土を盛ったことでまた一段と子ども達がよく遊ぶようになった。子ども達は遊んでいく中で土や泥の特性を知り、どうしたら固くなるか、どれくらいの水の量でとろとろになるか等発見しながら遊びが発展していった。自然の中でどろんこになり、心を解放して遊ぶ経験をしたことで、子ども達は満足感をもっていきいきとした表情で遊びこむことができ、豊かな心身の発達が促された。

園庭の実のなる木は季節によって子ども達の楽しみとなり、収穫したものを味わうことができた。